

日本金融学会 中央銀行パネル
5月25日(土) 13:20~15:20

デフレ脱却と中央銀行 —非伝統的金融政策の効果と限界—

1. 導入 大阪経済大学 高橋 亘 (司会・進行)
2. パネリストからの報告 (各15分程度)
 - ① 先進国中央銀行の非伝統的金融政策—その手段、効果、問題点 専修大学 田中隆之先生
 - ② 非伝統金融政策の効果と限界 東京大学 岩本康志先生
 - ③ 異次元緩和は金融抑圧の道? BNPパリバ証券 河野龍太郎先生
3. コメント (20分程度)
 - コメント 元IMFアジア太平洋局 武田真彦先生
4. リジョインダー (各5分程度)
5. 討論・会場からのご意見・ご質問

問題意識・論点

1. 非伝統的金融政策の評価

① 非伝統的金融政策全般 ②日銀、黒田日銀

- 昨年秋以来の「政策効果」

- 外部環境（「幸運」説）、ボラティリティ、異次元緩和の三つの政策波及ルート

(参考)日本の量的緩和について、株価を通じた効果が見られたという実証も報告されている

量的緩和時代以上の量的拡大を行った包括緩和時にはなぜ株価は上昇しなかったのか

2. 非伝統的金融政策のベネフィット・コスト（リスク）

① 2%の実現と株価・為替・短期／長期金利の関係

② 財政問題／金融抑圧・中銀／銀行部門の財務問題

- 「物価の安定・金融安定・財政安定」問題の復活？

③ 国際的波及（spill over）

日本金融学会 中央銀行パネル
5月25日(土) 13:20~15:20

「量的・質的金融緩和」の効果

長めの金利 や
資産価格 のプレミアムへの働きかけ

リスク資産運用や貸出を増やす

ポートフォリオリバランス効果

市場・経済主体の

期待 の抜本的転換

日本銀行 黒田総裁 「量的・質的金融緩和」読売国際経済懇話会における講演

2013年4月12日 より

日本金融学会 中央銀行パネル
5月25日(土) 13:20~15:20

Central banks are all about stability. But the past twenty years or so has been a time of almost continuous revolution.

As a result, the challenges facing central banks are as great as they have ever been. In many ways, the most durable lesson of the past twenty years is the overriding importance of basing monetary policy on serious economic analysis, rather than politics or market mystique. Although there will always be room for differences of view, putting economic analysis to the fore has raised the level of economic debate in this country – in which you all have played a major part – and has, I hope, raised the quality of policy itself.

Opening Remarks by the Governor Marvin King
INFLATION REPORT PRESS CONFERENCE Wednesday 15 May 2013